

浅間山

○ 概況（平成 14 年 8 月）

地震活動は、やや活発な状態が続いています。噴煙活動は、噴煙のやや多い状態が続いています。9 日に一時地震回数が急増しましたが、遠望観測および地殻変動に大きな変化は観測されませんでした。

○ 地震活動の状況

2000 年 9 月から地震活動のやや活発な状態が続いています。8 月の地震回数は 1,400 回以上と、依然多い状態でした。9 日に地震回数が急増しましたが、遠望観測および地殻変動において大きな変化は観測されませんでした。火山性微動は観測されませんでした（表 1、図 1、図 2）。

表 1 火山性地震日別回数表（浅間山）

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		2	
低周波地震	47	46	50	69	75	81	72	43	176	69		728	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
低周波地震	37	46	42	39	62	64	49	31	26	24		420	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	5
低周波地震	30	48	22	13	28	18	23	33	38	39	20	312	1460

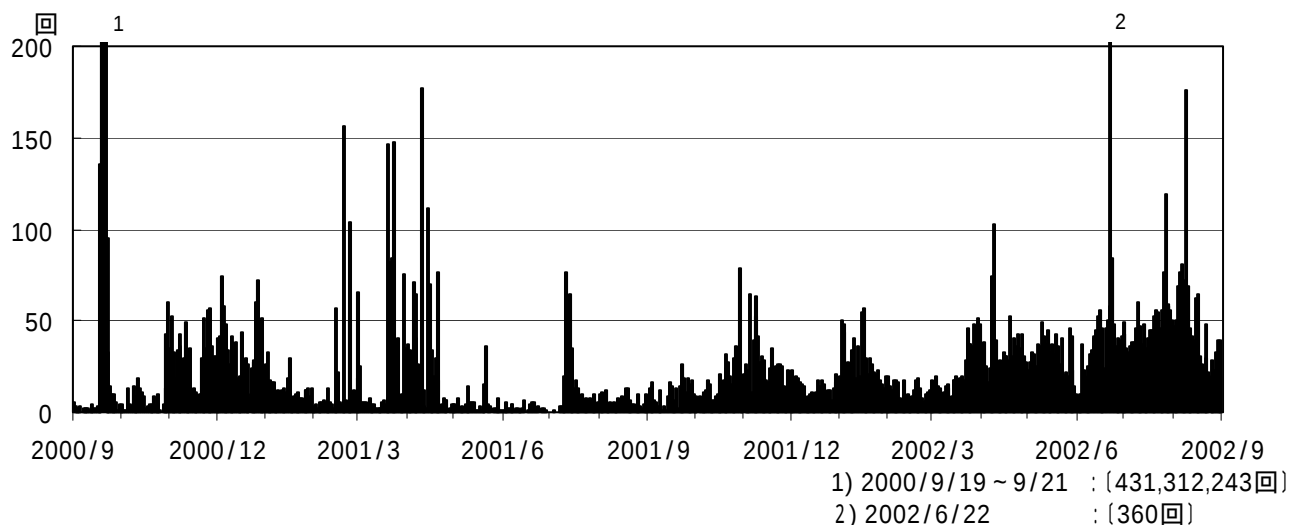


図 1 浅間山 火山性地震日別回数(2000年9月1日～2002年8月31日)

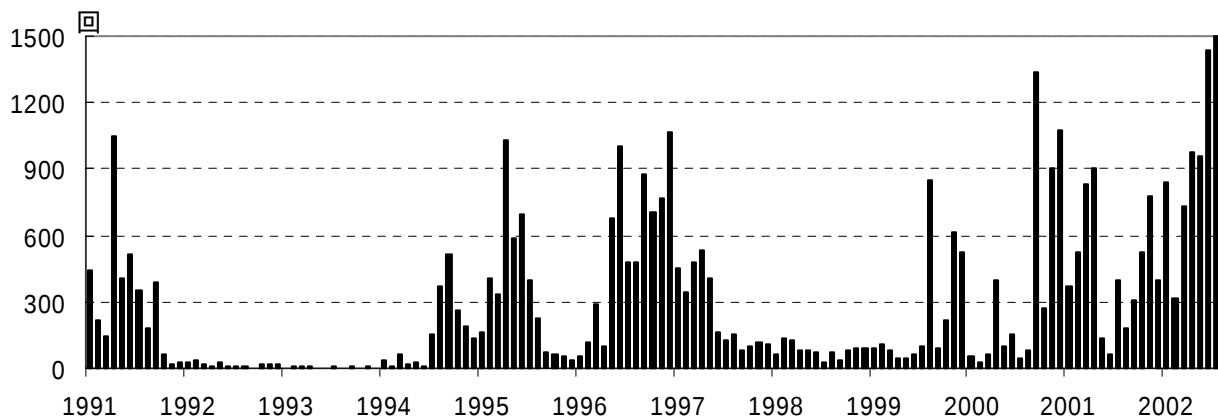


図 2 浅間山 火山性地震月別地震回数(1991年1月～2002年8月)

○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、6 日に噴煙が高さ 1,500m まで上っているのが確認されるなど、依然噴煙はやや多い状態となっています（図 3 ～ 5 ）。

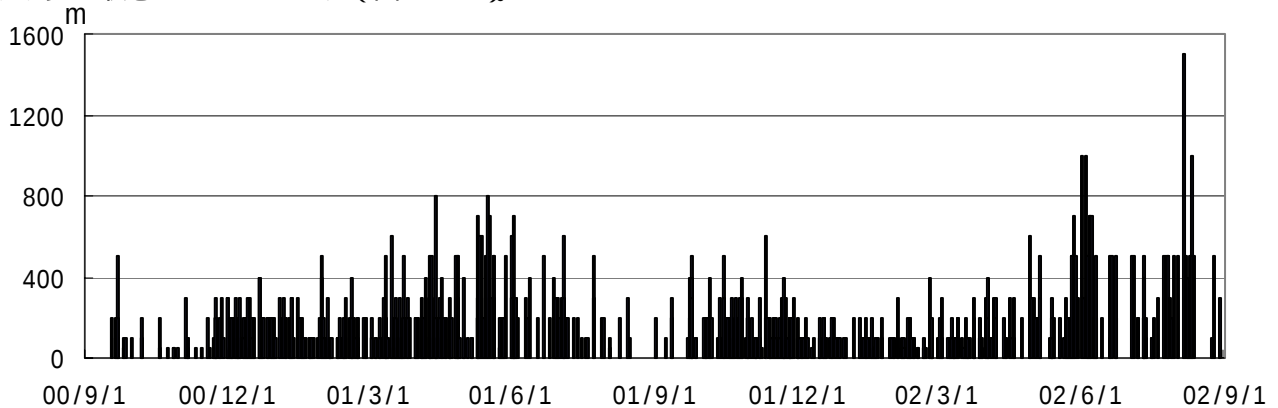


図3 浅間山 日別噴煙高度（2000年9月1日～2002年8月31日）

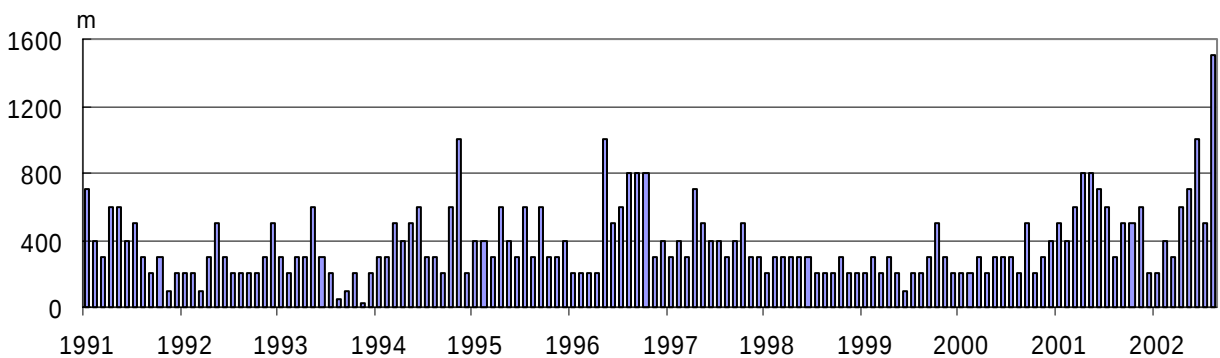


図4 浅間山 月別噴煙高度（1991年1月～2002年8月）

* 09・15 時の定時観測のうちで最大を示しています

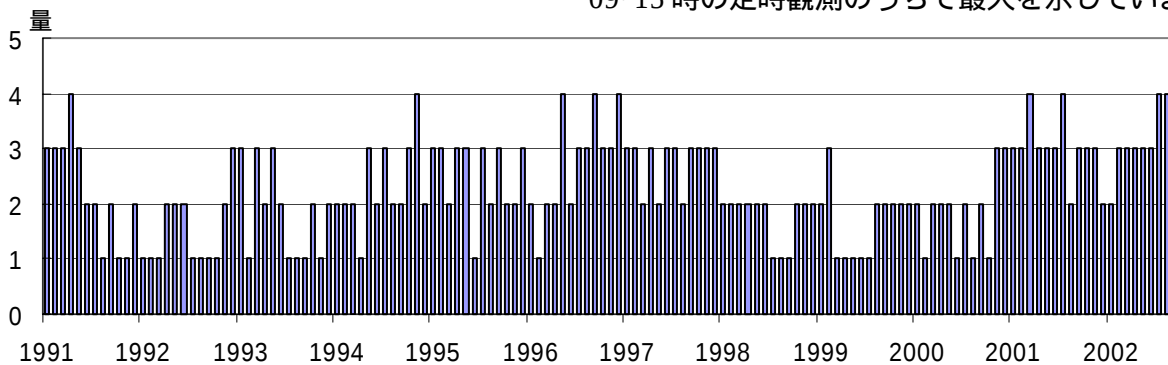


図5 浅間山 月別噴煙量（1991年1月～2002年8月）

* 09・15 時の定時観測のうちで最大を示しています

○火口内の状況

群馬県林務部の火口カメラによると、引き続き火口底噴気孔周辺において高温域が確認されています。また、7 日に行ったヘリコプターによる上空からの火口観測 で、火口からは、白色および青白色の多量の噴煙が北東方向に流れているのが確認されました。赤外熱映像装置による火口内の最高温度は 173 が観測され、6 月 19 日の火口観測時の最高温度 176 と概ね同程度の値でした。

長野県警察本部の協力による

○火山ガスの状況

8 月 27 日に実施した、二酸化硫黄の放出量の観測結果は、日量約 2,200 トンと、7 月(400 ～ 2,200 トン)に引き続き多い状態でした。

○地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。傾斜観測でも大きな変化は観測されていません(図6～8)。

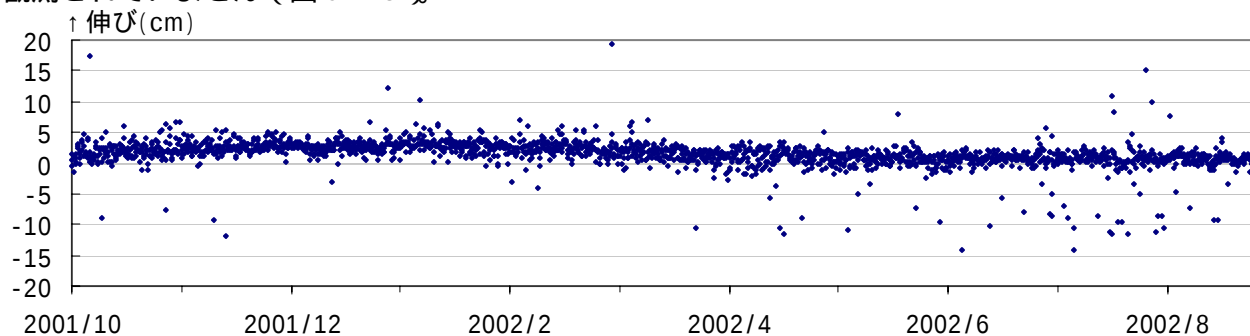


図6 浅間山 GPS観測結果(2001年10月1日～2002年8月31日)

軽井沢測候所 - 高峰高原ホテル 基線長

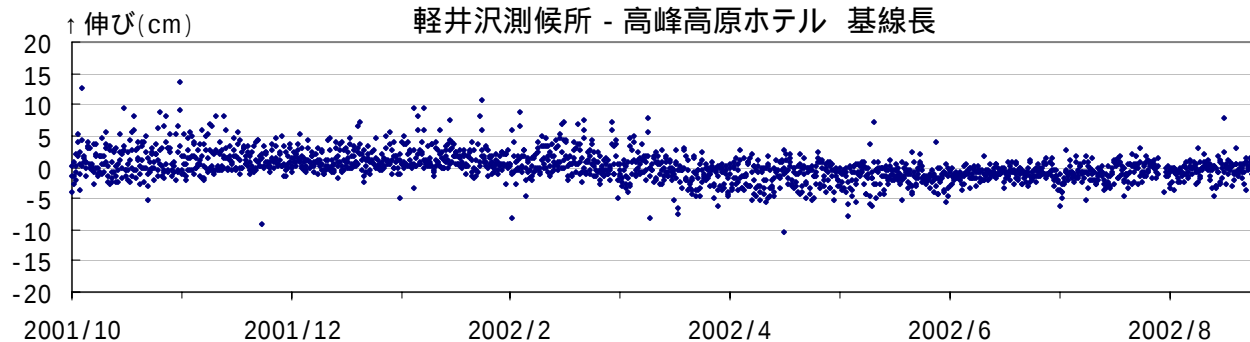


図7 浅間山 GPS観測結果(2001年10月1日～2002年8月31日)

軽井沢測候所 - 浅間園遠望小屋 基線長

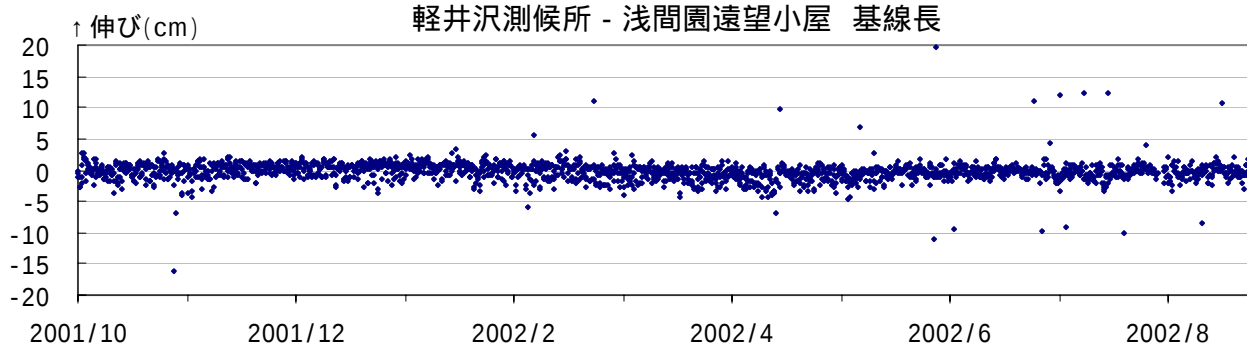


図8 浅間山 GPS観測結果(2001年10月1日～2002年8月31日)

高峰高原ホテル - 浅間園遠望小屋 基線長

